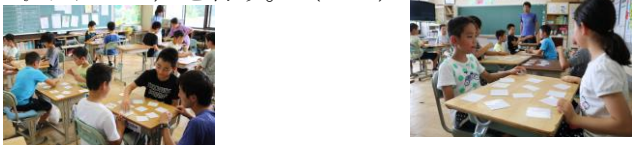


4年 単元名 Time 6・7月	
単元の目標	- 英語で積極的に“What time do you～?”と尋ねたり，答えたりして友達と関わろうとする。 (コミュニケーションを図ろうとする態度) - 友達とのやり取りを通して，連語や“What time do you～?”，“At ～.”の英語表現を使って，やり取りすることができる。 (英語によるコミュニケーション能力)
教材・教具	絵カード フラッシュカード CDプレーヤー

指導内容 (総時数6時間)

時数	目標と主な学習活動	評価の重点	
		態度	能力
1	○1日の生活行動を表す英語を聞いて，その英語を話そうとする。 ・歌：“What time is it, Mr. Wolf?” (CD③-31)	○	
英会話 タイム	・フラッシュカードを使って，単語や連語を確認する。 ・What's missing?を行う。(担任対児童)		
2	○1日の生活行動について，時刻を尋ねる英語を聞いて，その時刻を答えようとする。 ・歌：“What time is it, Mr. Wolf?” (CD③-31)	○	
英会話 タイム	・フラッシュカードを使って，単語や連語を確認する。 ・What's missing?を行う。(ペアで，児童対児童)		
3	○尋ねられた1日の生活行動の時刻について，聞いた英語を理解し，英語で答えることができる。		○
英会話 タイム	・Pelmanism (神経衰弱ゲーム)を行う。(ペア)		
4	○先生の1日の生活行動の時刻について，聞いた英語を理解し，ワークシートに正しく記録することができる。		○
英会話 タイム	・Slap (カルタ取りゲーム)を行う。(ペア) 		
5	○既習事項を使い，友達に興味のある1日の生活行動の時刻について尋ねることができる(1)。	○	○
英会話 タイム	・Matching gameを行う。(ペア)		
6	○既習事項を使い，友達に興味のある1日の生活行動の時刻について尋ねることができる(2)。 	○	○
英会話 タイム	・Matching gameを行う。(個人)		

【授業を終えて】

多様なゲーム活動を取り入れることで，楽しみながら語彙を増やしたり，文字で書かれた英単語を何となく読んだりすることができるようになってきた。また，他教科との関連を図るため，学活と保健でも生活習慣を見直す時間を設定したことで，児童は学習の系統性を感じながら，英会話の時間において意味のあるコミュニケーション活動を実践することができた。